

### 方針3

#### 未来につなぐ

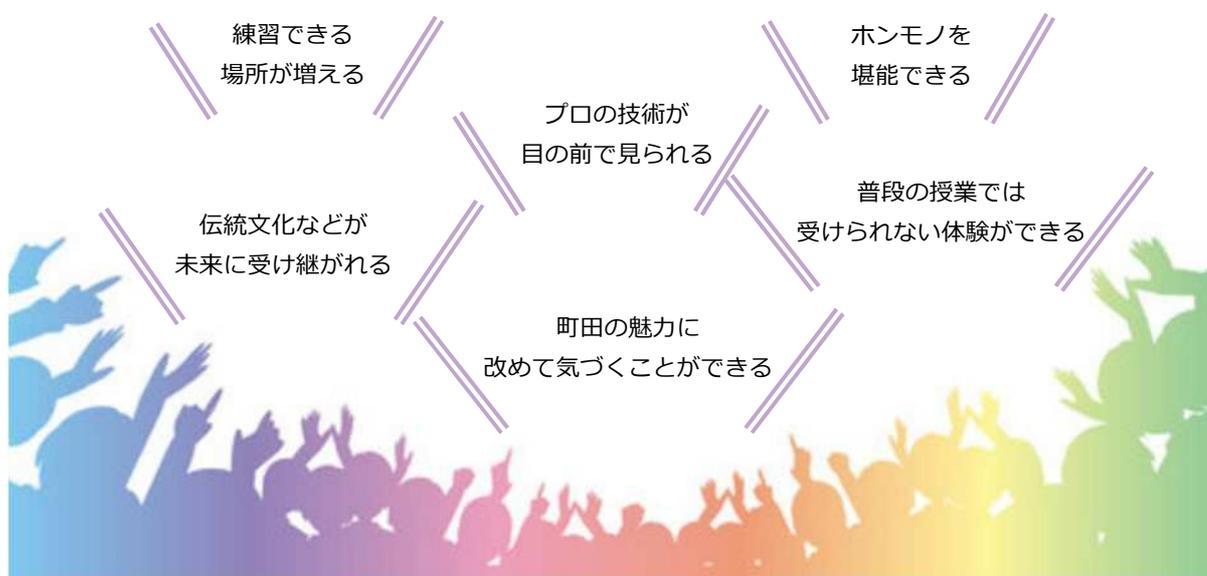
市の貴重な資産であり、歴史を物語る文化財を保存・活用します。また、文化芸術を担う人財のもつ技術や想いを次世代につなげ、文化芸術活動が続けられてきた土壌を育てていきます。

#### 指標

指標 美術館などの文化施設を友人・知人に薦めたいと思う市民の割合



方針に沿ったまちづくりでふくらむ、いいこと



## 施策1 美術品や文化財の保存・活用

### 施策に沿った取組

#### デジタルの力で、町田の美術品や文化財の魅力を伝え、 未来に残していきます

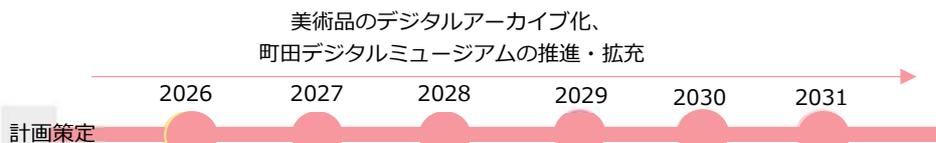
市が誇る美術品や考古・歴史・民俗資料等を適切に保存するとともに、デジタルアーカイブ化して活用することで、その魅力や町田の歴史に興味を持ってもらい、未来に残していきます。



#### \*事業例\* 「デジタルミュージアムの推進・活用」

市が収蔵する日本有数の美術品をデジタルアーカイブ化し、市内外の方々に知ってもらい、魅力を伝えることで、実際に見て、楽しんでいただけるような仕掛けを展開していきます。また、現在公開している考古・民族・歴史資料等の町田デジタルミュージアムを、学校教育やイベント等に活かし、歴史や文化への理解を深めることで、次の世代につなげていきます。

#### デジタルミュージアムの推進・活用



### 既存事業の紹介

#### 美術・工芸の魅力を伝える 展示の実施

国際版画美術館の歌川広重の東海道五拾三次などの版画作品コレクションや、博物館の東南アジアの陶磁器コレクション、ボヘミアン・グラスなどの工芸品を常設展示しています。

また、国際版画美術館では、企画・特集展示として、講演会、ギャラリートーク、鑑賞イベント、製作を伴うイベントやコンサートなど、通年で美術や工芸の魅力を伝えています。

#### 文化財、歴史資料の デジタル公開

国際版画美術館や博物館の作品、町田の歴史を誰もがいつでも分かりやすく学べるようデジタルアーカイブ化し、公開しています。

#### 市域資源を活かした展示

本物に触れることができるよう、市立自由民権資料館や考古資料室、三輪の森ビジターセンター内郷土資料展示室、本町田遺跡公園ガイダンスルームにて、土器や公文書、民具などの資源を活用した展示を実施しています。

#### 「方針4 共に創る」の視点

★方針4を念頭に、施策を進めます！

- チャレンジ：市民や団体等のチャレンジの創出
- コラボレーション：企業等の共創による推進

## 施策2 次世代への継承

### 施策に沿った取組

#### 子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やし、 未来に育んでいきます

アーティストとの共演や共作、伝統文化等の体験を通じて、未来に歴史や技術等を受け継いでいけるよう、文化芸術を「する」体験の機会を提供していきます。

##### \*事業例\*

##### 文化芸術「する」体験の推進

STEAM教育を推進する学校の教育カリキュラムや部活動などにおいて、アーティストとの共演や共作等の体験を通して、市内で育まれてきた歴史やアーティストが研鑽してきた技術等を学び、未来に受け継いでいくため、体験型のワークショップ等を開催します。

イラスト挿入

##### 文化芸術「する」体験の推進



### 既存事業の紹介

#### 工芸制作プログラム

子どもたちが工芸美術に親しめる環境をつくるため、学校と連携して、工芸制作プログラムを実施しています。

#### 子どもたちの体験学習

読み聞かせ、茶道体験、華道体験、伝統文化等の文化芸術体験や、講師から話を聞く機会を各学校で実施することで、未来につなげています。

#### 「方針4 共に創る」の視点

★方針4を念頭に、施策を進めます！

- チャレンジ：市民や団体等のチャレンジの創出
- コラボレーション：企業等の共創による推進